

別紙

I. 事業評価総括表

(単位:円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接 交付金事業者名	交付金事業に要し た経費	交付金充当額	備 考
1	地域活性化措置	伊勢町保育所運営事業	中之条町	21,187,887	13,989,000	

(備考) 事業が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	地域活性化措置	伊勢町保育所運営事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		中之条町		
交付金事業実施場所		中之条町大字伊勢町地内		
交付金事業の概要		中之条町立伊勢町保育所の職員人件費(保育士10人分)7ヶ月分。 中之条町は公立保育所が3園のみであり、女性の社会進出と少子化対策の側面から極めて必要性の高い施設となっており、安定した保育所の運営と良質な幼児教育・子育て環境が確保できるよう交付金を活用しています。		
総事業費		21,187,887	交付金充当額	13,989,000
			うち文部科学省分	
			うち経済産業省分	13,989,000
交付金事業の成果目標		保育所の民間参入は見込めず、引き続き保育需要の動向を踏まえて質の高い保育行政を充実させる取組を継続し、住民の福祉向上を図ることが目標になります。		
交付金事業の成果指標		交付金事業により成果目標を達成するには、正規職員保育士の安定的な雇用と質の向上が必要となります。本交付金を活用し、正規職員の確保を図り、配置される職員数を維持することとし、受入れ児童の減少をすることなく、「待機児童数0」を達成します。		

交付金事業の成果及び評価	交付金の活用により、適正な職員数を確保し、人件費7ヶ月分を確保することができました。 職員に国の交付金を財源として実施している旨を伝えたと、さらに努力する姿勢が見られました。引き続き、交付金の活用により良質な幼児教育・子育て環境を提供し、住民が安心して保育を委託でき、女性の社会進出の一助となり、少子化対策にも役割を果たしていきます。 今年度の事業評価は、本交付金の活用により適正な職員人数を確保できた結果、入園希望者に対し全ての園児を受け入れ「待機児童数0」を実現しました。さらに良質な幼児教育・子育て環境を提供し、保護者から寄せられる様々な要望にも相応の対応をすることができました。			
交付金事業の契約の概要				
	契約の目的	契約の方法等	契約の相手方	契約金額
	職員給料	雇用	-	21,187,887
	計			21,187,887
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無	無		交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	H34

(備考) (1) 事業ごとに作成すること。

(2) 番号の欄は、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。

(3) 交付金事業の成果目標の欄は、発電用施設周辺地域整備法第1条(目的)を踏まえて具体的に記載すること。

(4) 交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。

(5) 交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。

(6) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

(7) 成果及び評価に係る第三者機関等を活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、その名称及び構成員等を記載